

北村山公立病院経営強化プラン
点検・評価報告書
(令和6年度実績)

令和7年7月

北村山公立病院組合

I. はじめに

当病院組合では、令和4年3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を受けて、令和6年3月に「北村山公立病院経営強化プラン」を策定した。

本プランの計画期間は総務省が示した標準期間に基づき令和5年度から令和9年度までとしており、実施状況については各年度の進行管理の中で概ね年1回以上点検、評価を行うよう努めることとしていることから、本プランに掲げた令和6年度における「医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標」及び「経営指標に係る数値目標」について点検・評価を行いその結果を報告するものである。

II. 評価方法

目標に対する評価を以下の基準で行った。

区 分	評価の内容	達成率
S	目標を大幅に上回った	120%以上
A	目標を上回った	100%以上 120%未満
B	目標を概ね達成した	90%以上 100%未満
C	目標を下回った	80%以上 90%未満
D	目標を大幅に下回った	80%未満

Ⅲ. 評価結果(令和6年度実績)

1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

項目		(参考) R5年度 実績	R6年度			
			目標	実績	達成率	評価
(1)医療機能に係るもの	救急車 受入台数	2,548台	2,337台	2,434台	104.2%	A
	手術件数	865件	850件	829件	97.5%	B
(2)連携の強化等に係るもの	紹介率	37.6%	35.0%	37.3%	106.6%	A
	逆紹介率	33.9%	30.0%	31.8%	106.0%	A

救急車受入台数

常勤医師が減少傾向にあるものの目標を上回る「A」評価となり、北村山地域の基幹病院として救急医療に対応することができた。

手術件数

目標を概ね達成し「B」評価となったものの、令和5年度実績を若干下回った。

紹介率・逆紹介率

目標を上回る「A」評価となり、地域の医療機関等との連携を図ることができた。

2 経営指標に係る数値目標

	(参考) R5 年度 実績	R6 年度			
		目標	実績	達成率	評価
(1)収支改善に係るもの					
経常収支比率	92.2%	88.6%	92.7%	104.6%	A
医業収支比率	88.2%	84.5%	88.3%	104.5%	A
修正医業収支比率	80.0%	75.0%	78.7%	104.9%	A

※修正医業収支比率 医業収益から他会計繰入金等を除いて算出した医業収支比率

経常収支比率・医業収支比率・修正医業収支比率

経営強化ガイドラインでは、対象期間中の経常黒字化(経常収支比率が100%以上)を求めているが、令和5年度からの泌尿器科の診療体制縮小等による減収の影響が大きく、各項目とも実績が100%を下回ったものの、目標を達成し「A」評価となった。

	(参考) R5 年度 実績	R6 年度			
		目標	実績	達成率	評価
(2)経費削減に係るもの					
職員給与費対医業収益比率	62.4%	63.2%	61.9%	102.1%	A
材料費対医業収益比率	15.7%	15.9%	15.0%	105.7%	A

職員給与費対医業収益比率

給与のベースアップ等の影響で給与費は増加したが、患者数増等により医業収益も増加し、目標を達成し「A」評価となった。

材料費対医業収益比率

目標を上回る「A」評価となり経費節減を図ることができた。

	(参考) R5 年度 実績	R6 年度			
		目標	実績	達成率	評価
(3)収入確保に係るもの					
1日当たり入院患者数	205.3 人	200.0 人	213.3 人	106.7%	A
1日当たり外来患者数	374.3 人	370.0 人	387.7 人	104.8%	A
入院1人1日当たり 診療収入	37,934 円	38,700 円	37,780 円	97.6%	B
外来1人1日当たり 診療収入	13,908 円	13,600 円	13,432 円	98.8%	B

1日当たり入院患者数・1日当たり外来患者数

泌尿器科等の診療体制縮小等の影響があるものの、他の診療科がカバーした結果、目標を達成し「A」評価となった。

入院1人1日当たり診療収入・外来1人1日当たり診療収入

入院・外来ともに1日当たり患者数は目標を上回ったものの、1人1日当たり診療収入については若干目標を下回り、「B」評価となった。

	(参考) R5 年度 実績	R6 年度			
		目標	実績	達成率	評価
(4)経営の安定性に係るもの					
常勤医師数	21 人	21 人	20 人	95.2%	B
現金保有残高	466 百万円	41 百万円	372 百万円	907.3%	S

常勤医師数

令和6年4月末で内科医師が退職し20名となり、目標を下回った。

現金保有残高

令和4年度実績よりも年々減少しているものの、泌尿器科等の診療体制縮小等による減収及び給与のベースアップや物価高騰等の影響による費用増で現金保有残高はもっと減少することを予想していた。しかしながら、職員一丸となり患者数の増加による増収や費用の削減に努めた結果、減少幅を抑え、目標を大幅に上回る「S」評価となった。